

もいいけど？」

千歌・恭子「お願いします」&里美「付き合  
ってられない」

S E 雨

千歌（M）「翌日、土曜の午後、私は恭子と  
尾西歴史民俗資料館で待ち合わせ、学芸員  
の宮川さんを訪ねた。里美は」

里美の声「パス」

千歌（M）「離脱した」

恭子「人柱なんて、ホントにそんなこと、し  
たんですか？」

宮川「そういう伝承が、あるにはある」

千歌「恵先生から、江戸時代の話だと聞きま  
したが」

宮川「そうだね。慶長一三年のことで、今か  
ら四〇〇年ほど前の話。ときの藩主は家康  
の子、徳川義直よしなお。尾張藩というのは地政学  
的に重要でね、西国の大名が謀反を起こし、

江戸へ攻め上<sup>のぼ</sup>ってきたときには、ここで食い止める必要があった。そんな土地だから、河川の氾濫に振り回されるようじゃ困るよね。そこで家康は、伊奈忠次<sup>いなただつぐ</sup>を派遣した。この人、スゴイ人でね、利根川の東遷工事を成功させた、治水のスペシャリストなんだ」

千歌「どんな工事をしたんですか？」

宮川「当時は木曾川の支流、小信川がこの辺りを流れてた。川幅が広くて出<sup>しゅっすい</sup>水しやすく、村人は困ってた。そこで思い切って、小信川をしめきることにした」

千歌「しめきる？」

宮川「木曾川から小信川へ入る流れを遮断し、堰き止めたんだよ」

千歌「え、つまり川そのものを消滅させた、ってことですか？」

宮川「川が無ければ、洪水することもないでしよ」

千歌「そんなこと、昔の技術でできたんです